

# 東白川村 美しい村づくり 委員会

## 第77回

- 場 所：神土交流サロン（ふれあいサロン）
- 時 期：令和5年9月22日 19：00～21：00
- 参加者：委員4名 一般1名 行政担当3名

### 【今年度の新しい取組み】

- ・ ・ <sup>こよみ</sup> 暦 くらす（東白川村の暮らしや文化の体験イベント） ・ ・

村の方と移住者を中心とした方を「つなぐ」きっかけや場づくり、村の伝統や文化を後世に伝えることを目的とし、村の伝統的な暮らしを村の方から教わるイベントを令和5年度から年に6回開催し2年間で12回実施を目標とします。

## 第1 村長あいさつ

皆さんこんばんは。前回委員会をお休みしましたので、2か月ぶりとなります。9月現在も新型コロナは流行していますが、私は8月に新型コロナにかかりまして、委員会を欠席しました。この症状は、なかなか回復せず、辛い状態が長く続きました。事務局スタッフも同時期に罹患し委員会を欠席しましたが、似た症状でした。みなさん、残暑が厳しい中ですが、元気に明るく過ごし、新型コロナまた、インフルエンザにも引き続き気を付けて生活していきましょう。

元気に明るく！といえば、東白川村の8月と9月と、各地域では大変にぎやかにお祭りが開催され、また、9月17日には郷土歌舞伎公演が、多くの来場者の中、拍手と歓声に包まれ無事成功しました。今回の歌舞伎公演には、「日本で最も美しい村」連合の二宮副会長が観賞され、幕間の舞

台あいさつもいただきました。そのあいさつのなかで、東白川村に入ると美しい景色が広がって…。とお褒めいただきました。また、私の親族からも、東白川村に入ると景色が美しい！との感想を聞きました。来年度には、「日本で最も美しい村」連合の再審査を控えています。審査がなければ、コトを起こさないではありませんが、これを機に「美しい景観・景色」を皆さんと話し合い、考えたいと思います。村の文化資源である東濃ヒノキと白川茶の暮らしが織りなす景色は、村を代表する美しい景観ですが、産業や経済的視点では非常に厳しい状況が続き、村の大きな課題でもあります。お茶畑の景観をはじめ、看板や空き家などの建物、田んぼ、木々を含めた植生や管理状況など、いろんな視点があると思います。今回は、初めて参加される方も見え、大変嬉しいです。本日もよろしくお願いいたします。

## 第2 雑談から生まれるワークショップ「私の近況報告」

「美しい景観・景色」とくに茶畑について雑談会を始めました。

私の東白川村の美しい風景について雑談会で出てきた場所

- ◆岩屋製材から見える夕日 ◆柏本から見える朝焼け
- ◆はなのき会館周辺の紅葉 ◆小学校近くの竹林
- ◆茶畑の石垣 ◆山霧の景色 ◆道端に咲く花

- ・今年も、管理がされていない茶畑が広がっていて、私の所から見える茶畑も荒れた茶畑になってしまいました。茶は1年で伸びるため、あっという間に茶畑の美しい景観がなくなります。管理できないところは、代わりに刈ってやりたいが、そうもいきません。何よりも、この村の美しい景色を守り継いできた先人の想いに応えたい！その一心です。
- ・移住者の方は、自然を大切にしていたり、お茶を好きでいたりしています。

- ⇒ お茶が大好きで自家用の暮らしをしてくれる移住者が多くいると、お茶畑の景色が保たれるかも。
- ⇒ オーナー制度はどうでしょうか。
- ・お茶を摘む人手が足りません。
- ⇒ 手摘みしたいです！友人知人も参加したいと思います。
- ⇒ 人手が足りない！収穫を手伝いたい！の双方をつなげる仕組み、助け合いの仕組みが必要。
- ⇒ 「おてつ旅」「援農ボランティア」「ぎふの田舎応援隊」という仕組みがあります。
- ⇒ そういった仕組みを誰が運営管理するかという問題があります。お茶屋さんでしたら、そういった仕組みを活用しやすいですが、地区の茶畑となると誰が管理運営するのかという問題が浮上すると思います。
- ⇒ まず、前例を作り、そういった仕組みを「見える化」することから取り組むといい。
- ・農家さんが出荷しなくなった理由は？
- ⇒ 高齢化で管理が大変かつ赤字。
- ⇒ 赤字化は、生活様式等の変化の為、茶葉消費が減り、荒茶卸値及び卸し量の低下、そして東白川村は収穫時期が遅いため、農家さんの赤字化につながっています。
- ⇒ 社会変化やニーズに対応するには、ブランディングや商品企画、また営業活動が可能な6次化が、売価コントロールを可能にすると思います。村内にお茶屋さんが増えていくといいなと思います。
- ⇒ 時代に呼応して、お茶から他品種へ転換するのを受け入れないわけではないです。美しい植物などでも。
- ⇒ 他地域の地域づくりの事例で、宮崎県綾町など植栽による取り組みを見かけます。観光地は景観づくりが、集客につながり観光業への収益へとなるため、動機が明確です。観光地ではない地域は、美化や地域愛という意識を動機にしなければならず、ハードルが高く感じます。

- ・黒字化しないと茶畑管理する動機につながりにくいのでは。
- ⇒ 農林産業を振りかえると、養蚕の桑畑から茶畑、林業の植林は世界や日本の政策や経済事情により、儲かる時期だったため、産業として成り立っていたし、転換もされてきました。
- ・子供への学習に「お茶」を取り入れるといいと思います。
  - ・村の景観や価値として、世界や日本の視点から、山の価値はどんどん高くなると考えています。また、この委員会で、お茶に関するイベントに取り組むのもいいのではないのでしょうか。

### 第3 暦こよみくらす（暮らしの体験会）

村の方と移住者を中心とした方を「つなぐ」きっかけづくりを目的とし、村の伝統的な暮らしを村の方から教わるイベントを令和5年度から年に6回開催し2年間で12回実施を目標としています。運営は、事務局と委員が協働で実施していき、村の方が村でやりたいことを実現する場を設定し活動していくことで、官民協働活動と位置付けています。

#### 〈年間スケジュール〉

令和5年度					
朴葉寿司	鮎の友釣り	母樹林 ウォーキング	しめ縄 藁	味噌づくり	林業
令和6年度					
野草 山菜	茶	紅葉 ウォーキング	発酵食	こんにゃく	林業

#### 1 母樹林ウォーキングについて

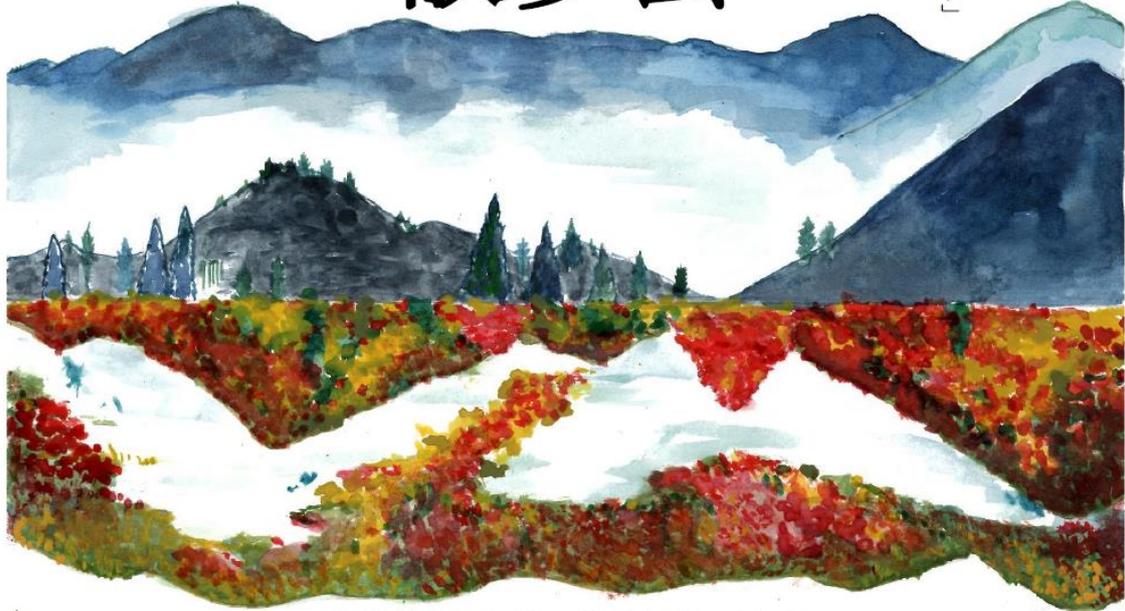
第3回となる「母樹林ウォーキング」は、10月15日・日曜日を開催予定とし、案内役となる地元の方は役場産業振興課林務係の田口幸生さんで、2時間ほど母樹林を歩きながら、村の林業を知る第1歩として位置づけます。村の林業政策の話しを聞き、普段立ち入ることが少ない母樹林を散策

し、楽しく村の資源を学ぶ内容としています。作成したチラシにて委員の方とイベント名や注意事項など諸事項を確認しました。※チラシ添付

第3回  
暦くらす

# 山の記憶 散歩会

東白川の  
暦と暮らす、  
「暦くらす」



2023年10月15日(日)9:45~14:00

集 合: つちのこ公園

会 場: 母樹林公園と新巢村有林

参加費: 無料

美しい村づくり委員会では、東白川村の美しい風景や暮らしを未来に残していくための活動をしています。春の山菜取り、夏の鮎釣り、秋の紅葉、冬の上り餅や味噌づくり…。長い歴史の中で培われてきた暮らしを通して村の自然や先人の知恵に触れてみませんか?(全12回予定)

「村の暮らし」について、伝えたい、学びたい。この「暦くらす」がそんな皆様を繋ぐきっかけになれば幸いです。ご参加お待ちしております。

東白川村美しい村づくり委員会事務局(東白川村役場総務課企画財政係)

☎0574-78-3111(内線800)

e-mail: 507soumu@vill.higashishirakawa.gifu.

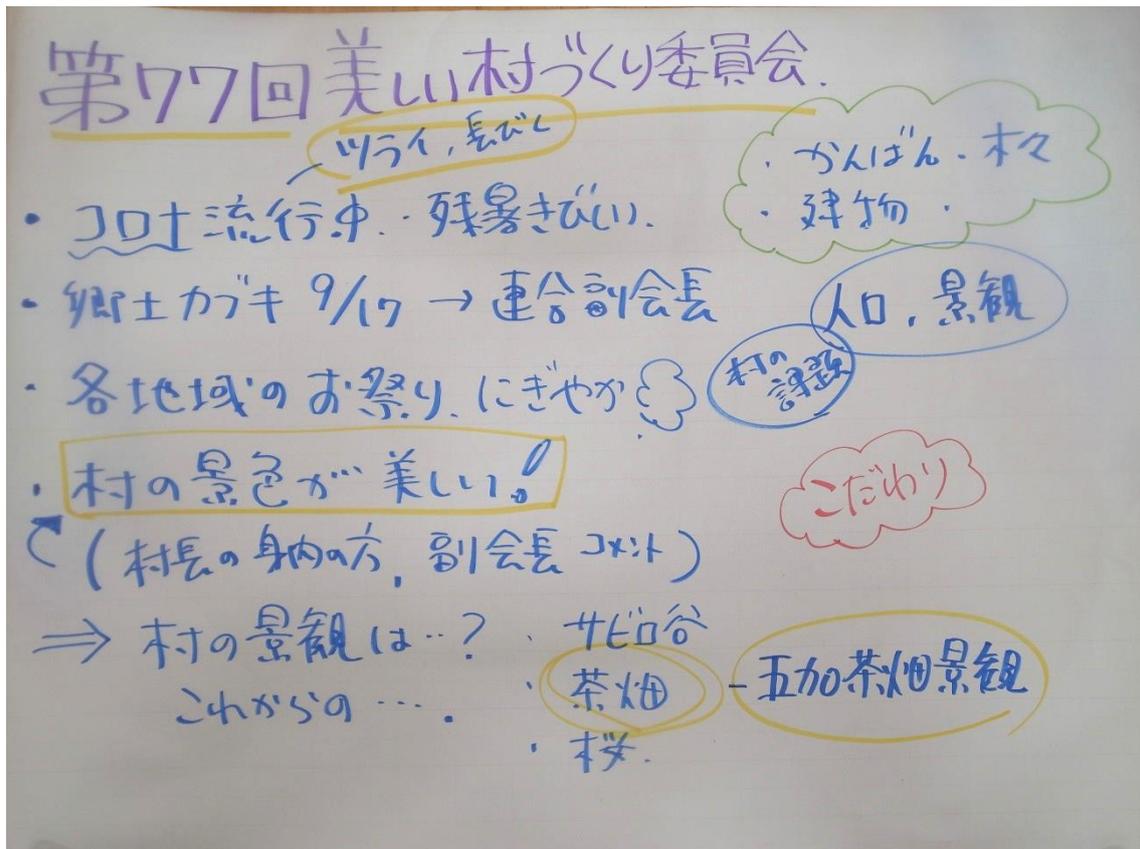


Beautiful  
villages  
in Japan

第4 閉会 (21:00)

次回 令和5年10月26日(金) 19時から21時  
神土交流サロン

以上



・自然を大切にしている

・管理大変

たせ??

無農薬

こだわり

赤字

↑春～秋

赤字になる仕組み

茶草培法

商品力

高齢化

1月～2月だけ

できる

売れない  
守り難い  
先人の想い

組合

ニーズ

6/7/7/2

1回き  
2人

出荷しない

植栽

移住者

手配

茶のむくがない 10/26(木)

山の価値

ホト角度

7マンの人たち

イベント

報告会

子ども

学羽子白

くらし

茶のむく  
入る

助け合い  
つなげる仕組み